

DAFS 環境情報センター (DAFS-EIC) 便り No.3

DAFS-EIC-003 2018/11/20

いつもお世話になります。前号から少し時間が経過してしまいましたが、DAFS 環境情報センター (DAFS-EIC) からのご案内をお送りいたします。

DAFS-EIC は DAFS 会員会社様が商社活動の一環として避けて通れない環境データ作成を会員の皆様に代わって作成することで、経費削減の一助として頂くことを目的として設立されましたが、約 1 年前に本格稼働を開始して以来順調に実績を積んできております。

当初は、標準 IC の JAMP-AIS データ作成が業務の中心でしたがその後、経済産業省の肝いりで JAMP-AIS から移行しつつある標準 IC の chemSHERPA の作成にその重心が移ってきております。この標準 IC のデータ作成に関しては、大量の件数を自動的に実行する連続運転ソフトを開発し、作業時間の効率化を図っております。

さらに現在ではそれに留まらずモジュール製品のデータ作成や JAMP-AIS や chemSHERPA と言った標準フォーマットばかりではなく顧客独自書式の受託も行っており、今後は自動車業界が要求する JAMA データの作成も検討を開始しました。

以下に、現在の状況をご案内いたしますので、未だ DAFS-EIC をご検討頂いていない会員様は是非、参考にしてください。

新たに連続自動変換ソフト開発

(I) 標準 IC :

JAMP-AIS, chemSHERPA は既に数千件の作成実績を積んできており、作成データの信頼性も格段に向上してきております。契約会員様のほとんどが基本的にノーチェックで顧客にデータを提出されています。

更には、大量データ作成の対応として、連続自動変換ソフトを開発しました。

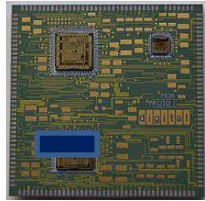
これは、同じ条件で 100 製品の AIS データ作成を一回のスイッチ操作で自動的に行うものです。ここで作成した AIS データ (xml) を、コンバージョン機能を使って chemSHERPA に変換することで、大幅な時間短縮が実現できます。

尚、標準 IC に関しては今までに IPC フォームも含めて約 50 社の半導体メーカーのデータ作成の実績を積んできました。



(II) モジュール製品：

多数の素子 (IC,L,C,R) が搭載されたモジュールの AIS データ作成も専用ソフト使用で簡単に複合化 (多素子の AIS を一つにまとめる) できます。
これにより化学物質の成分表で 1,000 行を超えるモジュールのデータ作成さえも受託できるようになっております。



(III) 顧客独自書式：

JAMP-AIS や chemSHERPA と行った標準フォーマットのデータ作成依頼が増えているとはいえ、主流は顧客独自書式であると伺っています。
中でも顧客によっては非常に難解なデータ作成を依頼してくる場合がありますが、DAFS-EIC ではそれらの作成や、顧客の要求・質問に対するアドバイスを行う相談窓口としての機能も果たすなどの実績も積んでおります。



(IV) JAMA：

自動車業界から要求される JAMA データ作成は JAMP-AIS や chemSHERPA に比べて難解で面倒なことから、多くの会員様で困っていると思います。
この JAMA データ作成に関しては、ごく近い将来半自動化すべく検討を開始しています。(JAMA データの性質上完全自動化ではなく、70%の自動化+マニュアル操作の方向で検討中)。
現時点で JAMA 半自動化ソフト開発打合わせは 80%の進捗となっています。



以上

(一社) 日本半導体商社協会

DAFS 環境情報センター TEL : 03-5350-6860

角田 (tsunoda@dafs.or.jp) 古野間 (konoma@dafs.or.jp)